

CHANGE

2023年度職場改善諸要求に関する業務委員会開催！報告第六弾

組合側申し入れ

仕業検査中に手歯止めを撤去されることがあった、重大な不安全行為である。対策 を講じること。

会社側回答

検査中は手歯止めを装着しており、転動防止措置は行っている。

組合側追及

組合:仕業検査中、乗務員や構内運転士が一号車付近に待機していたが歯止めは外していないのか？

会社:ハンドル操作をしない運転整備はしている。

組合:それは検査中に歯止めを外していることだな！回答が違う！

転動防止措置はとっていない！検査中は運転整備はやめろ！！

会社:・・・そういう申し入れだったのか？

・・・仕業検査担当者が運転台で検査しているので問題ない・・・

組合:ブレーキ試験中ブレーキが効いていない時がある。転動など安全に問題がある。

会社:・・・運転台にいるので安全上問題はない・・・

会社は1分1秒でも仕業庫から電車を出し、入れ替えをしたいとしています！！

安全より運行優先の姿勢が明確に表れています。

乗務員や構内運転士が一号車付近に待機することにより、仕業検査担当者がフレッシャーを感じ焦りやミスに繋がります。

何よりも本当に電車が動いてしまうかもしれません。

だれが責任を取るのでしょうか？担当者は不安でしかありません！！

私たちは会社のウソを暴き、運行最優先の姿勢を追及し、社員が安全に焦らず作業できる職場環境改善に取り組んでいきます！！